

1 教育目標

豊かな心と生きて働く力を身に付けた子どもの育成
～心をこめて、あいさつ そうじ ことばでつたえる～

2 本校教育の基本

教育基本法ならびに熊本市教育進行基本計画に示された基本理念、熊本市教育方針と取り組みの方向等を受け、現代の激しい社会変化においてもたくましく生きぬくことのできる子どもを育てるために、徳・知・体の調和のとれた、心身ともに健全な人間の育成を目指す。

3 教育目標設定の理由

子どもたちは比較的落ち着いた学校生活を送っている。素直で何事にもまじめに一生懸命に取り組む子どもがいる反面、学習面・生活面等からみて配慮の必要な児童も少なくない。担任一人で対応するのではなく、情報を共有したり、対応や手立てについて知恵を出し合ったりする等、チームとして課題を解決する実効性のある体制になるようリーダーを中心に組み込んでいく必要がある。

また、これまで学習してきたことを他の場面で生かすことや、善悪の判断を多面的に行うことについては個人差が大きい。主体的に判断し行動する力を子どもたちにつけるために全職員で取り組んでいく必要がある。

恵まれた環境の下、美しいものに感動し、常に生きることの喜びと感謝の気持ちに満ち、明るく、前向きに、たくましく生きようとする心を「豊かな心」ととらえ、自分を大事にすると同時に他人を思いやる心を育てていきたいと考える。

このような心を育てることと同時に、学力をつけることも学校の大切な役割である。

何を知っているかだけでなく、何ができるようになるかの観点から、何を学ぶかの教育内容、どのように学ぶかの教育方法を検討し、知っている知識から、わかる知識へ、さらには使える知識へと深化させていくことが必要である。

そこで本校では、よりよく生きようと、思考し、判断し、実践する力であり、身に付けた力を場に応じて活用できる力を「生きて働く力」ととらえ、変化の激しい社会の中で、「自立」した個人が、知恵を出し合い「協働」して、「創造」的に問題解決を図っていくといった21世紀型の資質・能力の育成を目指し、本校教育目標を設定した。

4 取組の重点

本校教育目標の実現のためには、現状を分析し課題を明らかにし、実践していく必要がある。そこで本年度は、目の前の課題に気づき、チームで解決方法を考え、チームで取り組む体制を整えるとともに、チームリーダーのコーディネートにより「気づき、考え、行動する教職員集団」として変容することを目指す。

変容した学校の姿

- 達成感と充実感を味わい、子どもも教師も笑顔あふれる学校
- 夢と希望を育む学校
- 組織の一員としての自覚をもち、児童・保護者・地域から信頼される教師